検査の結果

【メモ】

検査の結果を残したり、とじたりしておくと、学校での懇談時、病院の受診時、療育手帳の判定時などに、とても便利です。将来の福祉サービス申請時に役に立つこともありますので、ひかえたりとじたりしておきましょう。

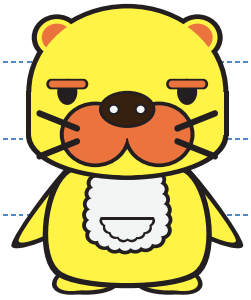
○新版Ｋ式発達検査 2001

発達を運動、言葉、道具や情報の扱い方という三つの方向から調べる検査です。DQ（発達指数）は実際の年齢に対して発達が何％かを示しています。

○WISC-Ⅳ

知能を言葉の理解、見て行う情報処理、その場で聴いて行う情報処理、速く正確な情報処理という四つの方向から調べる検査です。この検査の IQ（知能指数・合成得点）は平均点を 100 としたときの偏差値を示しています。

○田中ビネー知能検査Ⅴ

知能を何歳ぐらいの課題まで答えることができるかによって調べる検査です。14 歳未満の児童では、この検査の IQ は実際の年齢に対して精神年齢が何％であるかを示しています。

こうした発達検査や知能検査は、遊び、勉強、スポーツなどの知的な活動について、どのような手段や方法の選択や環境の準備が本人にとってメリットであるのかを調べるために行われます。